

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
233131113	総合的な学習の時間の指導法 Teaching Methods of the Period for Integrated Studies	小野 憲一			2	選択	3前期

科目の概要

本授業では、DP(6)に当たる「生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域・国際社会の課題解決に貢献できる」とあるように教員としての資質能力の育成を目指し、「総合的な学習の時間」に関わる基本的概念・内容・指導法を理解させる。さらに各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、基礎的内容の理解し、自分自身の考えや意見をグループ討論や全体発表の場において実践していく主体的な対話的な態度の育成もつなげていく。担当教員は、高校の教員として勤め、実務経験を活かし具体的な事例を紹介しながら授業を行う。

学修内容	到達目標
① 「総合的な学習の時間」全般に関する基本的概念・内容を理解する。 ② 基礎的内容の理解を基にして、実践的な内容を通した具体的な学修活動（体験）を行う。 ③ 「総合的な学習の時間」の特質を踏まえ、各教科と横断的・総合的に指導計画・授業の指導方法などを理解する。	① 「総合的な学習の時間」全般を巡る基本的事項や内容を理解し、現代的課題と結びつけて考えることができる。 ② 基礎的内容の理解を基にして、具体的な学修活動に活用し課題解決をすることができる。 ③ 「総合的な学習の時間」の特質を踏まえ、各教科と横断的・総合的に指導計画・授業の指導方法などを理解できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	自分自身が今まで経験した事柄や実生活と、様々な関心と結び付けながら学修活動に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	自分自身の考えや目標を設定し、最後まで諦めることなく学修活動に取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	与えられた課題だけではなく、自分自身で新たな課題を見出すことができる。
	計画力	
	創造力	学修課題等に対して、柔軟に対応でき多角的多様な考え方で取り組むことができる。
チームで働く力	発信力	グループ討論や全体発表において、自分自身の考えや意見を整理して表現することができる。
	傾聴力	グループ討論や全体発表において、自分自身の考えや意見を比較しながら深化させることができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻や私語等、授業に支障のきたす行動を自分自身でコントロールでき、円滑な学修活動を行うことができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：特に使用しない。必要な資料等は、適宜授業中に配布する。
参考文献：『総合的な学習の時間の指導法(教職課程コアカリキュラム対応 大学用テキスト 理論と実践の融合)』河村雅弘・藤井千春・野口徹・酒井達哉・原田三朗 日本文教出版
『小学校 学習指導要領(平成29年度告示)解説 総合的な学習の時間編』
『中学校 学習指導要領(平成29年度告示)解説 総合的な学習の時間編』
『高等学校 学習指導要領(平成30年度告示)解説 総合的な探求な時間編』

他科目との関連、資格との関連

本科目「総合的な学習の時間の指導法」は、教職科目として配置され、「教職入門(1年)」「教育原理(1年)」において基礎的理解を図り、その後に履修する「教育方法論(2年)」「教育課程論(3年)」において専門的理解を深め、「教育実習(4年)」において実践的理解と発展させていく。

関連する資格：中学校・高等学校一種

学修上の助言	受講生とのルール
・毎時間の授業におけるグループ討論や全体発表会等では、積極的な意見交換や交流を心がけると良い。 ・毎時間の学修内容は、しっかりと予習・復習において関連する情報収集を積極的に行い、理解を深めておくとう良い。	・毎時間の授業中で配布する学修資料は大切に保管し、忘れた際には出席者にコピーをもらう、または担当教員から受け取る。 ・授業時の開始時間には必ず携帯電話の電源を切り、授業に集中する姿勢と大勢の切り替えをして授業に参加する。ただし担当教員が必要に応じてスマートフォンで検索機能を活用をする時を除く。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
		レポート	60	①	✓			・授業の最後に実施する振り返りシート・小レポートの内容(学修した授業内容をしっかり整理し、深めることができたか等)点数を平均して判定する。 ・最終レポートの提出内容(授業内容を反映できたか、論点を整理できたか、オリジナリティー要素があるか、体験談なども盛り込めたか等)を総合して評価する。
				②	✓			
				③	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	30	①	✓			・グループや全体発表において、表現内容・方法が明確であり、評価に値するか。 ・グループ討論や全体発において、自分自身の考えや意見を述べ貢献度に値すべきものであったか。
				②	✓			
				③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）学修課題を自分自身の経験や体験に関心づけて取り組むことができる。 （実行力）復習する時に明確な目標をあげ、諦めずに根気よく取り組むことができる。 （課題発見力）復習する時に課題を広く深め、自分自身の学習問題を発展させることができる。 （創造力）他者の考えや意見を柔軟に受け取り、学修活動に取り組むことができる。 （発信力）自分自身の考えや意見を整理し、相手に分かり易く伝えることができる。 （傾聴力）相手の考えや意見の良さを理解し、自分自身の考えを深めることができる。 （規律性）遅刻や私語を自粛し、円滑な学修活動を進めることができる。また、提出物を期限内に確実に提出することができる。	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
・最終レポートの内容において、論点を明確に整理し、自分自身の考えや意見を論理的に記述できている。 ・小レポートの内容において、学修した授業内容の要点を的確にまとめ、自分自身の考えや意見を振り返ることができる。 ・グループ討論や全体発表において、他者の考えや意見を受容しながら自分自身の考えや意見を織り交ぜながら表現することができる。 ・積極的な態度や姿勢で授業に参加し、学修活動全般において高めようとする意欲がある。 ・提出物の取り組みにおいて、学修を深めようとする姿勢があり、その成果が確実に優れている場合。	・最終レポートの内容において、論点を踏まえ、自分自身の考えや意見を記述できている。 ・小レポートの内容において、学修した授業の内容に触れながら、自分自身の考えや意見を整理して表現することができる。 ・グループ討論や全体発表において、自分自身の考えや意見を整理して表現することができる。 ・自制した態度で授業に参加し、学修活動に取り組んでいる。 ・提出物の取り組みについて、提出期限・文字数・書式を守って進められている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・本授業の全体概要と進め方、留意事項を理解する。 ・自分自身が経験した「総合的な学習の時間」での内容を振り返る。 ・Classroomを活用した資料法の確認(諸連絡・資料等の情報共有等)	・ガイダンス ・グループ討論 ・質疑応答	・本授業全体における目的・進め方・留意点をわかりやすくすることができる。 ・「総合的な学習の時間」に対するイメージを持つことができる。	(予習) シラバスを開き、概要を理解しておく。 (復習) 本時の内容を整理して、振り返りシートのワークシートに取り組むことができる。	180	主体性 発信力 規律性
2	・「総合学習」と「総合的な学習の時間」の歴史的経緯について理解する。	・講義 ・グループ討論 ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	「総合学習」と「総合的な学習の時間」の歴史的経緯と制度的の相違を理解できる。	(予習) 「総合学習」と「総合的な学習の時間」の歴史的経緯と制度的の相違や特徴を理解しておく。 (復習) 本時の内容を整理して、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	課題発見力 傾聴力 規律性
3	・「総合的な学習の時間」が学習指導要領ではどのように定義されているか、その内容を理解する。	・講義 ・グループ討論 ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・「総合的な学習の時間」教育課程上での様々な意味を持って意義づけられているのか理解できる。	(予習) 「総合的な学習の時間」の学習指導要領での定義と内容を理解しておく。 (復習) 本時の内容を整理して、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	課題発見力 傾聴力 規律性
4	・「総合的な学習の時間」の目標を理解する。	・講義 ・グループ討論 ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・「総合的な学習の時間」の目標(学習指導要領と各学校が定める目標)の内容が理解できる。	(予習) テキストを熟読し、「総合的な学習の時間」の目標の内容を理解しておく。 (復習) 本時の内容を整理して、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
5	・「総合的な学習の時間」の内容で、探究的課題を内容を扱う場合を理解する。	・講義 ・グループ討論 ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・「総合的な学習の時間」の内容で、探究的課題を実現するための内容が理解できる。	(予習) テキストを熟読し、「総合的な学習の時間」の内容で探究的課題を実現するための内容を理解しておく。 (復習) 本時の内容を整理して、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
6	・「総合的な学習の時間」の年間計画と単元計画の書き方を理解する。	・講義 ・グループ討論 ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・年間指導計画・単元計画を作成する場合の構成要素と留意点を理解することができる。	(予習) テキストを熟読し、「総合的な学習の時間」の年間指導計画の作成方法や構成要素と留意点を理解しておく。 (復習) 本時の内容を整理して、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
7	・学習指導案を作成する場合の構成要素と留意点を理解する。	・講義 ・グループ討論 ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・学習指導案を作成する場合の構成要素と留意点を理解できる。	(予習) テキストを熟読し、「総合的な学習の時間」の学習指導案の作成方法や構成要素と留意点を理解しておく。 (復習) 本時の内容を整理して、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
8	・「総合的な学習の時間」の評価の在り方と留意点・ポイントを理解する。	・講義 ・グループ討論 ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・「総合的な学習の時間」の評価の在り方と留意点・ポイントが理解できる。	(予習) テキストを熟読し、「総合的な学習の時間」の評価の在り方と留意点を理解しておく。 (復習) 本時の内容を整理して、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 課題発見力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	・「総合的な学習の時間」において「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりの基本的概念・内容・指導法を理解する。	・講義 ・グループ討論 ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・「総合的な学習の時間」において「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりの基本的概念・内容・指導法を理解し留意点が理解できる。	(予習) テキストを熟読し、「総合的な学習の時間」における「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりの留意点を理解しておく。 (復習) 本時の内容を整理して、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
10	・「総合的な学習の時間」における「考えるための技法(思考スキル)」の活用方法を理解する。	・講義 ・グループ討論 ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・「総合的な学習の時間」における「考えるための技法(思考スキル)」の活用方法を理解できる。	(予習) テキストを熟読し、「総合的な学習の時間」における「考えるための技法(思考スキル)」についての留意点を理解しておく。 (復習) 本時の内容を整理して、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
11	・「総合的な学習の時間」におけるICTを活用した授業展開の活動内容とポイントを理解する。	・講義 ・グループ討論 ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・「総合的な学習の時間」におけるICTを活用した授業展開の活動内容とポイントを理解できる。	(予習) テキストを熟読し、「総合的な学習の時間」における「ICT活用方法」についての内容とポイント・留意点を理解しておく。 (復習) 本時の内容を整理して、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
12	・「総合的な学習の時間」における「岡崎市の魅力を伝える」「衣」に関連した内容の年間指導計画と学習指導案を作成してみよう。	・講義 ・グループ討論 ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・「岡崎市の魅力を伝える」ために「衣」に関連した内容の年間指導計画と学習指導案を作成できる。	(予習) テキストを熟読し、「総合的な学習の時間」における「衣」の実践事例内容とポイント・留意点を理解しておく。 (復習) 本時の内容を整理して、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力
13	・「総合的な学習の時間」における「岡崎市の魅力を伝える」「食」に関連した内容の年間指導計画と学習指導案を作成してみよう。	・講義 ・グループ討論 ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・「岡崎市の魅力を伝える」ために「食」に関連した内容の年間指導計画と学習指導案を作成できる。	(予習) テキストを熟読し、「総合的な学習の時間」における「食」の実践事例内容とポイント・留意点を理解しておく。 (復習) 本時の内容を整理して、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力
14	・「総合的な学習の時間」における「岡崎市の魅力を伝える」「住」に関連した内容の年間指導計画と学習指導案を作成してみよう。	・講義 ・グループ討論 ・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・「岡崎市の魅力を伝える」ために「住」に関連した内容の年間指導計画と学習指導案を作成できる。	(予習) テキストを熟読し、「総合的な学習の時間」における「住」の実践事例内容とポイント・留意点を理解しておく。 (復習) 本時の内容を整理して、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力
15	・全体総括内容として、「総合的な学習の時間」の教育的価値の問題と課題について話し合い、自分自身の考えや意見を深め整理し理解する。授業関連の教育時事の課題を出題し、それについて今まで学修した内容を含めながらレポート課題を提出してもらう。第7週目にその内容を教示する。なお、この課題の提出をもって出席とみなす。	・質疑応答 ・Classroomを活用した資料・情報の共有と課題提出	・本授業の内容を通してたどり着いた「総合的な学習の時間」の在り方を整理し、自分自身の考えや意見を表現することができる。	(予習) 本授業全体の内容を振り返り、ワークシートに取り組む。 (復習) 最終レポートの提出に向けての内容を整理し、重要ポイントを再度確認し提出に備える。	180	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
233132114	特別活動の指導法 Extra-curricular Activities	小野 憲一			2	選択	3後期

科目の概要

本学の教育目標であるDP(6)に当たる「生涯学習社会の中で自己の潜在能力をさらに開発しながら、職場と地域・国際社会の課題解決に貢献できる」思考を育みつつ、学校教育全体における「特別活動」の意義を理解し、学習指導要領等を手がかりとして目標や内容、指導法を理解し、学級経営における指導の現状・課題等について具体例の分析とそれに基づくグループ討議、全体討議等のアクティブ・ラーニングを通して理解する。また、学校としての特別活動の全体計画や学年毎の年間指導計画、評価の視点と方法について、事例を提示してその理解を深める。さらに、3領域の一つである「学級活動」については、受講生の経験も素材にしながら教育実践レベルでの具体的な事例の分析とそれに基づくグループ討議、全体討議等のアクティブ・ラーニングを通して体験的に学ぶ。担当教員は、高校の教員として勤め、実務経験を活かし具体的な事例を紹介しながら授業を行う。

学修内容	到達目標
① 学習指導要領における「特別活動」の意義、目標および内容について理解する。 ② 学校の教育課程全体で取り組む「特別活動」指導の在り方について理解する。 ③ 教育課程における「特別活動」の役割や各教科等との関連の在り方について理解する。	① 学習指導要領における「特別活動」の意義、目標および内容を理解することができる。 ② 学校における各活動や学校行事の目標や内容、特質、取組の評価・改善の重要性について理解することができる。 ③ 教育課程における「特別活動」の役割や各教科等との関連のあり方についてりかいすることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	本授業を積極的に取り組む態度を醸成し、テキストを自学自習し、分からない用語や文言等を前もって調べておくことができる。
	働きかけ力	
	実行力	主体性を具体的に進めていくために、調べた事柄をさらに深化させインターネットや公共図書館・大学図書館に赴き、新たな知見を得ることができる。
考え抜く力	課題発見力	授業で学修した内容を、これまで学修した内容を踏まえ、自分自身の問題意識として考えることができる。
	計画力	
	創造力	授業で学修した内容を、自分自身の問題として捉え直し、自分自身の課題を新たに立てて、その解決策を探ることができる。
チームで働く力	発信力	新たな課題発見を駆使することで生産された問題意識を、グループ討論や全体発表において表現できる。
	傾聴力	グループ討論や全体発表において、他者の考えや意見を柔軟に聴き入れ、それに至った経緯の背景も視野に入れながら、関心を持つことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	グループ討論や全体発表において、自分自身の考えや意見を交え、他者の考えや意見の内容を否定することなく受容できる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：『特別活動の理論と実際』河村茂雄 編著 図書文化社 2018年
 参考文献：『特別活動指導法 改訂2版 平成29・30年告示 学習指導要領準拠』渡辺邦雄・緑川哲夫・桑原憲一 日本文教出版
 文部科学省『小学校指導要領解説 特別活動篇』
 文部科学省『中学校指導要領解説 特別活動篇』

他科目との関連、資格との関連

他教科との関連：「道德教育の理論と実践」「進路指導論(キャリア教育を含む)」等と並んで、「教育原理」から「教育課程論」とつなぐ教職科目に関する基盤となる。
 資格との関連：中学校・高等学校家庭科教諭一種免許状。

学修上の助言	受講生とのルール
・配付資料をもとに授業内容を進めていく、また、グループ討論や全体発表等により考えを深める。 ・授業内容のポイントや疑問点等についてメモしておくこと。 ・授業内容における課題レポートなどは、考察を加えながら自分自身の言葉でまとめ、自分が教員の場合どの様に考えるかを想定して考えをまとめると良い。	・受講時の基本姿勢（マナー）として、受講時は、私語を慎み、内職等は行わないこと。携帯電話を机に出すことは、授業で活用する時以外は禁止とする。 ・遅刻・欠席・早退の扱いは、20分を超える遅刻は欠席とする。なお、特別の理由がある場合はこの限りでない。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
		レポート	70	①	✓			授業時に実施する小レポートの課題提出における内容、さらに、最終レポートによる記述内容を総合的に評価する。
				②	✓			
				③	✓			
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①	✓			グループ討論や全体発表において、自分自身の考えや意見を持ちつつ、中心的な役割を果たしている学生を特に高く評価をする。
				②	✓			
				③				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体的）必要な知識について、テキストや配布資料の文献を参考にしながら自己学習ができる。 （実行力）問題解決のために、解決方法・手順を考え、確実に課題をやり遂げることができる。 （創造力）多角的観点から物事を観察することができる。 （傾聴力）グループ討論や全体発表において、自分自身の考えや意見を持ち、述べることができる。 （規律性）個人・集団の場面において、自分自身を律しルールを厳守することができる。	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
Sの基準は、小レポートと最終レポートを提出し、その課題内容が自分自身の考えや意見をしっかり述べている。さらにグループ討論や全体発表において、中心的な役割を果たすことが求められる。 Aの基準は、Sに準じる達成度を求める。	Bの基準は、小レポートと最終レポートを提出し、授業で学修した知識が活用され、一定以上の分量があることを問う、さらに、グループ討論や全体発表において、自分自身の役割を果たすことを求める。 Cの基準は、小レポートと最終レポートが期限までに提出されている、さらに、課題設問に対して意味が通る内容になっている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	・オリエンテーション・ガイダンス：受講の留意点と授業の進め方と概要について確認する。 ・教育課程における特別活動の位置づけ。	・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。	講義で学修した内容の要点が理解でき、自分自身で問題意識を表現し、学修した内容に基づいたテーマについて討論することができる。	(予習) 生徒・進路指導で学んだ学修内容の復習をやる。またテキストを熟読しておく。 (復習) シラバスを確認し、今後の学習の計画を考えること。振り返りのワークシートに取り組む。関連文献や本を調べるなどして理解を深めること。	180	主体性 創造力 傾聴力 規律性
2	・特別活動の教育的意義について考察する。人間関係形成と社会参画に基づく自己実現について考察する。	・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。	講義で学修した内容の要点が理解でき、自分自身で問題意識を表現し、学修した内容に基づいたテーマについて討論することができる。	(予習) 特別活動における教育的意義について整理すること。 (復習) 学習指導要領解説を熟読し、内容についての理解を深め、ワークシートに取り組むさらに理解を深める。	180	主体性 実行力 傾聴力 規律性
3	・特別活動の教育的特性について考察する。日本の学校教育と学級経営について整理し、まとめる。	・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。	教育課程における特別活動の役割について理解でき、自分自身で問題意識を表現し、学修した内容に基づいたテーマについて討論することができる。	(予習) 特別活動における教育的特性について整理すること。 (復習) 学習指導要領解説を熟読し、内容についての理解を深め、さらにワークシートに取り組む理解を深める。	180	主体性 実行力 創造力 規律性
4	・特別活動の目標を考察する。学習指導要領解説特別活動編をてがかりに、目標と内容について整理し、まとめる。	・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。	特別活動の目標を理解し、内容が把握できているか。	(予習) 学習指導要領を熟読し、特別活動の目標と内容について整理すること。 (復習) 特別活動の目標と内容についての理解を深めること。	180	主体性 実行力 創造力 規律性
5	・特別活動の主な内容を考察する。学習指導要領の内容について、小学校を基に、中学校・高等学校の違いについて整理する。	・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。	特別活動の主な内容はどうのようなものを理解し把握できる。	(予習) 指定テキストを熟読し、内容についての理解を深めること。 (復習) 特別活動の主な内容について整理し、まとめる。また関連文献や本を調べるなどして理解を深めること。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
6	・特別活動で教師に求められる力量を考察する。特別活動を指導するにあたっての指導の在り方と実際について検討する。	・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。	特別活動を指導する教員として、どのようなことに留意し指導を行えばよいか理解し把握できる。	(予習) 指定テキストを熟読し、内容についての理解を深めること。 (復習) 特別活動における教師の力量について整理し、まとめる。また関連文献や本を調べるなどして理解を深めること。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
7	・学級活動・ホームルーム活動の特質について考察する。学級活動・ホームルーム活動の特質について知り、指導の留意点を検討する。	・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。	学級活動・ホームルーム活動の特質について知り、指導の留意点を検討し理解することができる。	(予習) 指定テキストを熟読し、内容についての理解を深めること。 (復習) 学級活動・ホームルーム活動の特質について整理し、まとめる。また関連文献や本を調べるなどして理解を深めること。	180	主体性 創造力 傾聴力
8	・特別活動の全体計画と指導計画について考察する。	・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。	講義で学修した内容の要点が理解でき、自分自身で問題意識を表現し、学修した内容に基づいたテーマについて討論することができる。	(予習) 指定テキストを熟読し、内容についての理解を深めること。 (復習) 特別活動の全体計画と指導計画について整理し、まとめる。また関連文献や本を調べるなどして理解を深めること。	180	主体性 創造力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	・合意形成に向けた話し合い活動および意思決定につながる指導の在り方について考察する。	・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。	講義で学修した内容の要点が理解でき、自身自身で問題意識を表現し、学修した内容をベースとしたテーマについて討論することができる。	(予習) 指定テキストを熟読し、内容についての理解を深めること。 (復習) 学級における課題の解決の方法について整理し、まとめる。また関連文献や本を調べるなどして理解を深めること。	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力
10	・集団活動のモデルと指導の在り方 (1) について考察する。集団活動の特質と望ましい集団活動の展開について考察する。	・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。	講義で学修した内容の要点が理解でき、自身自身で問題意識を表現し、学修した内容をベースとしたテーマについて討論することができる。	(予習) 指定テキストを熟読し、内容についての理解を深めること。 (復習) 集団活動の特質と望ましい集団活動の展開について整理し、まとめる。また関連文献や本を調べるなどして理解を深めること。	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力
11	・・集団活動のモデルと指導の在り方 (2) について考察する。集団活動のモデルとなるグループ・アプローチの方法について検討する。	・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。	講義で学修した内容の要点が理解でき、自身自身で問題意識を表現し、学修した内容をベースとしたテーマについて討論することができる。	(予習) 指定テキストを熟読し、内容についての理解を深めること。 (復習) 集団活動のモデルとなるグループ・アプローチの方法について整理し、まとめる。また関連文献や本を調べるなどして理解を深めること。	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力
12	・児童会・生徒会活動の特質について考察する。児童会・生徒会活動の特質について知り、指導の留意点を検討する。	・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。	講義で学修した内容の要点が理解でき、自身自身で問題意識を表現し、学修した内容をベースとしたテーマについて討論することができる。	(予習) 指定テキストを熟読し、内容についての理解を深めること。 (復習) 児童会・生徒会活動の特質について整理し、まとめる。また関連文献や本を調べるなどして理解を深めること。	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力
13	・クラブ活動・部活動の特質について考察する。クラブ活動・部活動の関連を検討しながら、指導上の留意点について検討する。	・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。	講義で学修した内容の要点が理解でき、自身自身で問題意識を表現し、学修した内容をベースとしたテーマについて討論することができる。	(予習) 指定テキストを熟読し、内容についての理解を深めること。 (復習) クラブ活動・部活動の特質について整理し、まとめる。また関連文献や本を調べるなどして理解を深めること。	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力
14	・学校行事の特質と特別活動の評価の在り方について考察する。学校行事の目標と学習過程を整理する。また、特別活動における評価の意義と方法について整理し、留意点について検討する。	・講義 ・ディスカッション ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示 授業内容によって、小グループで課題に関するディスカッションや発表、意見交換などを行う。	講義で学修した内容の要点が理解でき、自身自身で問題意識を表現し、学修した内容をベースとしたテーマについて討論することができる。	(予習) 指定テキストを熟読し、内容についての理解を深めること。 (復習) 学校行事の特質・特別活動の評価について整理し、まとめる。また関連文献や本を調べるなどして理解を深めること。	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力
15	・「特別活動」の現状と今後の課題について考察する。これまでの学習内容を振り返、文部科学省が推奨する動画視聴し、その内容を把握し、課題を作成する。	・オンデマンド ・Classroomを活用した資料に沿った課題提示をする。	講義で学修した内容、指定された視聴覚動画の内容理解し、自分の考えや意見を織り交ぜた課題内容の作成がなされているか。教育時事問題の内容を理解し、自分の意見や考えが記述されているか。	(予習) 指定された視聴覚動画の視聴をし、その内容を理解し把握し期限内に提出しておく。 (復習) 指定された視聴覚動画の内容を整理し、課題提出に向けての準備に取り組む。	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力